

第4号様式（第10条関係）

会 議 録（要 旨）

会 議 名	第6回武蔵村山市市民協働推進会議
開 催 日 時	平成27年10月9日（金）午後6時～9時
開 催 場 所	中部地区会館401大集会室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：渡辺龍也、中村政義、村野哲也、北口良夫、瀬口圭志、本間由美子、前田啓子、山田行雄 欠席者：清野智美、比留間毅浩 （事務局）協働推進課長、協働推進課主査、協働推進課主事
議 題	議題1 武蔵村山市協働事業提案制度の提案事業の第二次審査について 議題2 採択すべき事業の選定について 議題3 その他
結 論 （決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。）	議題1 協働事業提案制度提案事業の一次審査について 提案団体によるプレゼンテーションを2団体実施した。 議題2 採択すべき事業の選定について -非公開- 議題3 その他 （提案事業審査報告書について） 事務局で各委員の意見を取りまとめて後日各委員に送付し、内容の確認を行う。その後の修正については、座長及び副座長に一任する。 （人件費の単価について） 国や都の助成金の状況を調査し、人件費の単価の上限を規定することを検討する。 （次回会議の開催日程について） 第7回会議は平成28年2月に開催する。詳細な日程については、事務局が各委員と調整し改めて通知する。
審 議 経 過 （主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。） （発信者） □印：座 長 ○印：委 員 ●印：事務局 △印：提案団体 ▲印：協働担当課	議題1 武蔵村山市協働事業提案制度の提案事業の第二次審査について 事業番号27-6 団体名：特定非営利活動法人 子ども科学教育振興協会 事業名：みんなの科学教室 -提案団体によるプレゼンテーション ○ 様々な活動をしているようだが、協働事業に対して交付される補助金は、武蔵村山市内で実施する事業に対してのみ使われなければならない。 △ 協働事業の決算と、団体のその他の活動の決算は切り離して行う。 ○ 予算書にメニュー1から3まで記載されているが内容は。 △ 当日の楽しみにするため、詳細な内容は記載していない。

- 外部講師への謝礼を計上しているが、外部講師とはどのような人物か。
- △ 日本理科教育振興協会の者である。
- 科学の楽しさを子どもたちにどのように広めていくのか。
- ▲ 現在、市内の全小学校に理科クラブがあるわけではなく、また、理科クラブを担当できる知識や技術を持った先生がいない。協働事業により子どもたちへの科学教室を実施できるとともに、先生の指導力向上を図ることで、各学校で継続していけたらと考えている。
- 武蔵村山市において児童の学力向上が課題とあるが、根拠となるデータはあるのか。
- ▲ 小学3年生と中学1年生の学力を市で、小学5年生と中学2年生の学力を都で、小学6年生と中学3年生の学力を国で、それぞれ調査しているが、武蔵村山市の児童の学力水準は低いものとなっており、東京都における平均値を目指している。
- 提案書では子どもの理科離れが課題とあるが、プレゼンテーションでは、子どもたちは理科に興味を持っているが先生の理科離れが進んでいるとあった。
- △ 子どもたちに、1番好きな教科は何かというアンケートを取ると理科が1番という結果だが、1番大切な教科は何かというアンケートを取ると、理科が最も低いという結果が出ている。先生の理科に対する理解や知識が不足していることが、子どもの理科離れに繋がっていると考え。
- 事業の実施により子どもたちが理科に興味を持っても、先生に熱意や知識が無ければ継続は難しいのではないか。先生を対象にした事業を実施すべきではないか。
- △ 先生を含めた市民全体を対象にした講座を開催する予定である。
- ▲ 現在の先生の多くは、理科に苦手意識を持っており、理科を教えることに不安を抱えている。そのような現状を解決するために、先生への研修会の実施や理科を得意とする先生を積極的に採用するなど、都や教育委員会が主体となって別の手段により対策している。今回の事業では、先生に特化するのではなく、市民全体を対象として実施したいと考えている。
- 子どもを対象にした事業には、先生も参加するのか。
- △ 小学校のクラブ活動の一環として実施するので先生も参加する。
- 先生はただ見ているだけでなく、子どもたちと一緒に参加するのか。
- △ そのとおり。
- 協働事業の終了後は公民館事業として継続したいとのことだが、市の事業として予算計上ができなかった場合は、どのような形で続けていくつもりなのか。
- △ ロータリークラブやライオンズクラブとの連携を考えているが、具体的な方法はまだ決まっていない。国や都の事業に便乗することができればとも考えている。
- 協会のメンバーはどのような人物か。
- △ 教育関係や、科学に興味を持っている人間である。
- 人件費は1人あたり6,400円を計上しているが、事業の時間は。
- △ 1事業60分程度である。
- 外部講師への謝礼は1人あたり1万円を計上しているが、時間は。
- △ 時間は決まっていない。

事業番号 27-7

団体名：特定非営利活動法人 むさし

事業名：市内公共施設での「みどりのカーテン」育成事業

-提案団体によるプレゼンテーション

- 正会員は11名とあり、会費は2,000円と規定しているが、会費による収入は11,000円しか計上されていない。
- △ 会員全員から会費を徴収できていない。
- NPO法人は最低でも10名の会員を有することが条件だが、現状では2人欠けると法人格を失うことになる。協働事業の実施とともに、人員確保など、団体として力を付ける必要がある。
- △ 28年度の活動に向け、現在ボランティアを募集している。協働事業の実施を機に、入会者を増やしたいと考えている。
- スケジュール表では、ボランティアの募集は29年度からとなっている。
- △ 現時点でボランティアを希望している人がいるので、28年度から入会してもらいたいと考えている。
- 団体の活動分野は、社会教育や福祉がメインであると感じる。今回の提案事業の内容は団体の主旨と違うのではないか。
- △ これまで活動してきた中で、市内の緑が少ないと感じていたため、今回の内容で提案した。
- これからは環境保護も団体の活動分野の一つとして掲げるのか。
- △ そのとおり。
- パソコンの購入費を5万円計上しているが、今回の事業を実施する上で、パソコンは必要なのか。
- △ 活動の記録を保存したり管理するために、パソコンは必要であると考ええる。
- 事業のチラシ等もパソコンを使って作成するのか。
- △ そのとおり。
- パソコンを購入する費用をプリンターの購入費に充て、実施する箇所や個数を増やしてはどうか。
- △ 植え込みをする箇所や個数が増えると、人件費も増えるものと考えている。
- 消耗品費の内訳が不明瞭であるので、積算根拠を明らかにして予算書を事務局に再提出していただきたい。
- 29年度以降は交通費を計上しているが、28年度は計上していない。実費で交通費を捻出するのか。
- △ そのとおり。
- 保険料とはどのような経費か。
- △ ボランティア保険に加入するための経費である。
- 公共施設で実施するのも良いが、市全体に広げるためには、事業所や一般家庭でも取り組むべきである。
- △ 将来的には一般家庭にも広めたいと考えている。
- 団体育成型事業として一年間事業を実施することで、どのような団体になりたいと考えているか。
- △ 市全体に緑化を進められるようにしたい。
- 団体育成型事業を経験し、協働型事業へと発展できることを期待す

	<p>る。</p> <p>議題2 採択すべき事業の選定について</p> <p>-非公開-</p> <p>議題3 その他</p> <p>(提案事業審査報告書について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 審査結果を取りまとめた報告書については、例年は事務局が作成したものを委員の皆様を確認していただき、その後の修正等は座長と副座長に一任している。今年度も同様で良いか。 <p>-異議なし-</p> <p>(人件費の単価について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 人件費の単価について上限を規定した方が良い。 <input type="radio"/> 国や都で交付している助成金には、必ず人件費の上限が規定されているはずである。 ● 様々な助成金の状況を調査し、人件費の単価の上限を規定することを検討する。 <p>(次回会議の日程について)</p> <p>第7回会議は平成28年2月に開催する。詳細な日程については、事務局で各委員と調整し改めて通知する。</p>
--	---

会議の公開・非公開の別	<input type="checkbox"/> 公開 <input checked="" type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 ※一部公開又は非公開とした理由 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;"> 提案事業の審査に係る協議を行うため。 </div>	傍聴者： <u>7</u> 人
-------------	---	-----------------

会議録の開示・非開示の別	<input type="checkbox"/> 開示 <input checked="" type="checkbox"/> 一部開示 (根拠法令等：武蔵村山市情報公開条例) <input type="checkbox"/> 非開示 (根拠法令等：)
--------------	--

庶務担当課	協働推進部 協働推進課 (内線： 242)
-------	------------------------

(日本工業規格A列4番)